

公害防止思想の啓蒙・普及に努めながら、大気、水質等の環境監視の充実、工場・事業場に対する指導、規制を強化し環境基準の維持達成を図ることにしています。

★公害防止指導監視調査……… 八千四百四十七万円
大気汚染、水質汚濁等の防止指導費、環境監視調査費として所要の経費を計上しています。

か、前年度に設置した自動車排出ガス測定局の機器の整備拡充を行います。

に、少しでも安心して必要な治療が受けられるよう医療救済を図ることとしています。

また、水俣病対策として、現行認定制度の抜本的改善を含めた認定業務の促進水俣湾等の堆積汚泥の処理についても一層努力します。

★公害防止施設整備助成費……… 三億三千九百五十万円
中小企業者の公害防止施設に対する融資制度を設け、資金的な助成を行うとともに、技術的な指導助言を行います。

★公害被害者救済対策……… 七億四千五百万円
昭和五十三年二月末日現在で、水俣病認定患者は千五百八十人、認定申請中の人は四千六百二十七人となっています。

★水俣湾等たい積汚泥処理事業……… 十五億円
水俣湾内にたい積する水銀を含む汚泥を浚渫除去し、湾奥部の五十八ヘクタールの区域に汚泥を埋立てて、封じ込めます。



▲水俣湾たい積汚泥処理事業のための仕切網設置作業

★公害被害者救済対策……… 七億四千五百万円
当面、昨年十月から、「月間百五十人検診、百二十人審査」体制をとって認定業務を進めています。

★農業用廃プラスチック処理対策事業……… 七百三十一万円
農業用廃プラスチックの増加に対処し、これが処理を促進するため、昨年度に引き続き処理に要する経費を助成します。

防災対策
集中豪雨、台風及び地震、津波並びに石油高圧ガス等による災害は、最近その態様が複雑化してきており、また、火災についても、建築物の高層化、複合化により、その態様が複雑多様化しつつあるので、これらに対処するための施策を充実します。

★市町村消防施設整備事業……… 二千八百四十九万円
安全な都市、県民が安心して住める地域をつくりあげるため、消防施設の不備な市町村に助成し、消防力の拡充強化を図ります。

☆防災行政無線施設整備……… 五億三千八百八十三万円

非常災害時において、県、市町村、防災関係機関相互間の重要な通信手段としてすでに運用している防災行政無線網を、消防機関や保健所等の県の出先機関にも設置して、防災活動等につき活用をはかります。

★石油コンビナート等災害防止対策……… 千四百五十六万円
八代市大島地区の石油コンビナート特別防災区域に対して、防災本部会議の開催、防災訓練の実施、防災計画の修正及び地元八代広域消防組合が整備する大型化学消防車等の消防施設に対して助成します。

☆防災資機材整備……… 千三百五十四万円
林野火災に対して、ヘリコプターによる空中消火を導入し、空陸一体となった消火を実施しますが、これに要する資機材等を整備します。

★交通安全総合対策……… 千六十万円
交通安全対策の充実強化と、市町村の交通安全組織の確立を図り、市町村、事業所及び、団体を網羅した県民総ぐるみの交通事故防止運動を『ゆっくり走ろう』をテーマとして強力に実施します。

交通安全
県では市町村、その他関係機関及び団体等と密接な連携をとりながら総合的な交通安全対策をすすめていきます。

★交通安全総合対策……… 千六十万円
交通安全対策の充実強化と、市町村の交通安全組織の確立を図り、市町村、事業所及び、団体を網羅した県民総ぐるみの交通事故防止運動を『ゆっくり走ろう』をテーマとして強力に実施します。

★交通安全総合対策……… 千六十万円

★交通安全総合対策……… 千六十万円

★交通安全総合対策……… 千六十万円

★交通安全総合対策……… 千六十万円



▲ヘリコプターによる救助訓練